

令和3年5月24日

理事長 殿

2020年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	一般科	職	准教授	氏名	長森 清
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	(和文) 日本人の異文化コミュニケーション能力					
	(英文) Japanese intercultural communication ability					
研究種目	教育課題研究					
研究実績の概要						
<p>私はこれまでに、英語教育史と現代の英語教育を研究し、これまで以下のような研究を行ってきた。「学習指導要領に見る英語教育史の変遷」、「高等学校新学習指導要領から見える英語教育～新旧学習指導要領を比較して～」、「英語教育実践についての一考察」、日本人学習者による動詞“have”習得についてのコーパスに基づく研究～中学校・高等学校の教科書を中心に～」、「英語多読の取り組みとその効果」、「Teaching English Composition Effectively」、「高専におけるグローバル化の現状－茨城工業高等専門学校および本校のグローバル化事業に関する取り組み－」、「英語コミュニケーションにおける考察～アイデンティティの視点から」、「街なか英語表現～英語ボランティア活動から」等がある。2019年にOxfordに滞在した研究生生活を踏まえ、2020年度は、Oxfordにおける文学的視点及び英語学習者が英語辞書をどのように使っているかをデータでまとめ、研究成果としてまとめた。</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
<p>日本ではグローバル化の進展や異文化コミュニケーションの重要性を認識しているにも関わらず、国際的な場で通用する日本人のコミュニケーション能力に関しては課題が多い。日本の英語教育では、海外で開発された新しい外国語教育理論、教授法が多く取り入れられている。それらの外国語教授法は日本人に適さないものもあり、ただ取り入れるだけでは効果が薄い。常に自分の置かれている環境、条件、そして待ち受ける課題を念頭に置き、日本人に適した英語コミュニケーション論を確立・研究することには意義がある。英語の辞書をどのように活用し、英語力を向上させるかは、高専の英語教育に大きく寄与することができる。近年、品川キャンパスの学生のTOEICが飛躍的に向上している。また、主に学生に向けて話をした、「Oxford体験記～グローバルな視点と英語教育～」において、自身の体験談を話すことにより、学生に刺激を与えることができた。</p>						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						
<p>Literature and Movie in Oxford～special reference to fantasies～ 『英文学論考48輯』 The Role of the Dictionary in Learning English 『東京都立産業技術高等専門学校研究紀要第15号』 「Oxford体験記～グローバルな視点と英語教育～」 令和2年度第1回地域貢献・研究推進センター 「Oxfordでの研究生生活」 鮫洲 第29号</p>						